

はしづめ法への支持を もう一票広げて下さい

一票をあらそう大変な激戦となっています まだ、票が足りません



「おまんしかない
こて」と激励を受
ける橋爪候補。



「おかあさん、たのむでね」と
がっちり握手。

長崎市の合併選挙。定数1でも日本共産党候補が勝利。香焼選挙区と伊王島選挙区で勝ちました。今度は新潟上越・吉川区の番です。



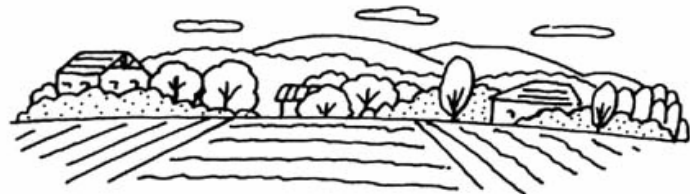
心を込め、熱く、力強く。橋爪候補の訴えはどこでも共感を呼んでいます。

一月一日の合併から一ヶ月。いよいよ十三日は、上越市議選の投票日です。投票箱の閉まる最後の最後まで、大きなご支援をお願いいたします。

「小学校入学前まで通院も医療費助成してほしい」「頸北に産婦人科を」などといった政策に、共感と期待がひろがっています。行政のこと、議会のことを分かりやすく知らせてくれるのははしづめさんだけ」「一人しか出せないのならばはしづめさんだ」という声も党派を超えて広がっています。

しかしその一方で、「共産党では吉川区に予算が来なくなる」「レポートを出したって一方通行で、あまり価値がないなどの攻撃がふきあれており、一票一票を奪い合う大変な激戦となっています。選挙戦最終盤にあたってあらためて訴えます。新しい議会に吉川区の思いを届ける日本共産党のはしづめを、なんとしても押し上げてください。

みなさん、はしづめ当選のためには、まだ票が足りません。ぜひもう一票、はしづめへの支持を広げていただきたいと思います。最後の最後まで、大きなご支援を、心からお願いたします。



「角張前町長や八木前議長が応援している中村さんに負けるな。おまんには俺たちがついてる」...こう語って橋爪候補を励ましているのは稲作農家のTさんです。いま、自分の近所や友だち等に毎日支持を広げています。

橋爪のりかず後援会ニュース

発行：日本共産党吉川町後援会
2005年2月 NO 6
電話 539-3802

部内資料